こたえ 説明の工夫・言葉の働き

月　日　名前

標準（ひょうじゅん）⑥

1 接続語の働きに合うものに、○をつけましょう。

（一）「つまり」（まとめて言いかえる・反対のことを言う）

（二）「たとえば」（例を挙げる・理由を述べる）

（三）「なぜなら」（理由を述べる・例を挙げる）

（四）「一方」（別の面と比べる・順番を示す）

（五）「ところで」（話題を変える・結論を述べる）

2 文末が表す内容に、○をつけましょう。

（一）「雨が降るらしい。」（伝え聞いたことや推量・事実）

（二）「水は百度でふっとうする。」（事実・意見）

（三）「この本を読むべきだ。」（意見・事実）

（四）「明日は晴れるだろう。」（推量・事実）

（五）「体育館は三階にある。」（事実・意見）

おうちの方へ

- 説明文では、文末表現が事実と意見を見分ける手がかりになります。

© きりんドリル kirindrill.com